事務事業調書(通常訊	呼価事業 事 後	(評価)							
事務事業名	喜連川	II地区観光商第	美施設利用促進事	業		事業開	始年度 平	成27年度		
担当課	産業総	圣済部 商工額	見光課		担当者	高	喬茉子			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】			•					
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	03	地域資源を活	舌かした観	光の振興					
	基本事	事業								
古世の口む			当該施設を維持管	理し、道(の駅やお丸山グ	公園などを含ん	/だ周遊ルート	~を		
事業の目的			の活性化を図る。					_		
—		喜連川地区観光商業施設(笹屋別邸)の整備及び管理								
事業の概要										
■事業実施結果	【実施	i (Do)								
		年度	5年度		6年	.度	7年	F度		
事業費の推移	事業費の推移 実績/当初予		実績	実績		<u> </u>	前初			
		総事業費	2, 855		3, 5	02	4, 5	当初 4, 521		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+七-	標名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	相	际 石	四甲	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	来館者数		人	2, 695	2, 344	2, 500	2, 500		
1日1示り7年1夕	八木	木貼日奴			2, 095	2, 344	2, 300	2, 300		
	評估			う多少は達		成できず				
達成度の		喜連川公	ちひな祭りの開催	することや	o、年間を通し	利用者を受け	入れることが	出来たことに		
評価と説明	説明	月しよる。								
見直し余地	判员	2 〇数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性										
資源方向性	予.	算額 〇拡大	、●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

	通常評		評価)					
事務事業名	観光P	R事業				事業開	始年度 平	成26年度
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	f 竹	田実梨	
■事業の執行計								
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤			
総合計画体系	施策	03	地域資源を活					
	基本事	業 01	シティプロモ	ミーション	の推進			
事業の目的	各種イ	ベントやマス	コミへの露出を増	曽やすことに	こより、市へ訂	fれる観光客 を	を増加させる。	
事業の概要	図る。		光キャンペーン等	宇に参加し、	PR活動を実施	もすることで、	観光客の誘る	字を
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	度	74	年度
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績			績	<u> </u>	当初
		総事業費	1, 919		3, 6	11	5,	509
■前年度の事業	<u>分析【</u>	評価(Check)						
	指標	ti: t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	111	宗'口'你	丰匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	マスコミへの露	出件数	件	64	66	60	60
	評価	i ■達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず		•
達成度の			ノトなどに参加し					
評価と説明	説明							
見直し余地	判定	' ●数年内(こ見直し可能 ()余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇名	食地なし	
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性		し継続 〇明	状どおり継続	〇廃止・	完了			
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小							

事務事業調書(評価)						
事務事業名	シティ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	コン事業			事業開	始年度 平月	成27年度	
担当課	総合政	文策部 総合政	策課		担当者	桑.	島・伸幸		
■事業の執行計					•	•			
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	03	地域資源を活						
	基本事	本事業 01 シティプロモーションの推進							
事業の目的	市の魅	力を市内外に	発信する為の事業	きを実施し、	交流人口、定	≧住人口の増加	口を目指す		
事業の概要	効果的]な事業を実施	し、交流人口、定	住人口の均	曽加を目指す				
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	度	
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実	績	当	初	
		総事業費	5, 468		6, 3	94	6, 7	06	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	t년:	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1日1	宗石が	- 単位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	年間観光客入込	数	人	1, 774, 651	1, 775, 392	1, 780, 000	1, 780, 000	
	評価	■ 〇達成、	概ね達成した	多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の		観光客入记	∆数を増やすこと	ができた。	新聞掲載、SN	Sを積極的に発	発信し、市オリ	「ジナルグッ	
評価と説明	説明	ズを作成	・周知することで	、さくらホ	の知名度を少	しずつではあ	るが着実に上	げることがで	
	きた。								
見直し余地	判定	○数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇余	≷地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書((通常評価事業 事後評価)									
事務事業名	商工ま	つり支援事業				事業開	始年度 平原	戊26年度		
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	青	木聖真			
■事業の執行計	画【計画	画(Plan)】				•				
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	03	地域資源を活	舌かした観	光の振興					
	基本事	基本事業 02 観光資源の充実と創出								
古世の口も	商店街(所店街の活性化及び市民による活気あるまちづくりを図ることを目的に開催する商工まつり								
事業の目的		助を行う。								
古米の畑田			川商工会への事業	美費の補助?	を行う。					
事業の概要										
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	度			
事業費の推移	実績	/当初予算	実績		実績当初		当初			
		8事業費	5, 500		6, 00	00	7, 0	7,000		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	示句例	中位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	商工まつり参加:	少 米h	Y	52, 500	42, 500	50, 000	50, 000		
担保の推修	八木 「	日エよ フッ多加・	1日 奴		32, 300	42, 300	30, 000	30, 000		
	評価	〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		令和5年度	同様の内容で、さ	きつれ川商:	エまつり、氏家	₹商工まつりを	を開催すること	ができたこ		
評価と説明	評価と説明 ┃ 説明 ┃とによる。									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (○余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	≷地なし			
■将来方向性【		ction)]								
事業の方向性	「向性 │○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									

	通常評価		:評価)							
事務事業名	暮市・花	市開催事業				事業開	始年度 平	成26年度		
担当課	産業経済	部 商工観	光課		担当者	音	木聖真			
■事業の執行計	画【計画	(Plan)								
	政策	04	くらしを支え							
総合計画体系	施策	03	地域資源を活		<u>光の振興 </u>					
	基本事業	02	観光資源の発	<u>モ実と創出</u>						
事業の目的	伝統行事	が継承され	、市街地ににぎれ	いを創出す	する。					
事業の概要		市実行委員	会への補助金。毎	≨年、暮市、	花市を各1	ョ開催 。				
■事業実施結果	【実施(Do)								
	左	拝度	5年度		6年	度	7年度			
事業費の推移	実績/	当初予算	実績		実	績	=	当初		
	総事	事業費	330		5	90	(660		
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	西夕 环	光上	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	打日1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果 暮	市・花市開催	回数	□	2	2	2	2		
	評価	●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇道	成できず				
達成度の		コロナ禍を	と経ての実施であ	ったが、市	i街地に賑わい	を取り戻すこ	とができた。			
評価と説明	説明	コロナ禍を経ての実施であったが、市街地に賑わいを取り戻すことができた。 説明 								
見直し余地	判定	〇数年内1	こ見直し可能 (金地はあ	るがまだ時間	が必要 ●金	≷地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算額		: ●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\		

事務事業調書(通常評価	西事業 事後	:評価)						
事務事業名	各種イ	ベント開催事	業			事業開	始年度 平月	成26年度	
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	青	木聖真		
■事業の執行計	画【計画	画(Plan)】				·			
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策 03 地域資源を活かした観光の振興								
	基本事	業 02	観光資源の充	で実と創出					
事業の目的	イベン	トを開催する	ことにより観光客		し、市内へのダ]を図る。		
事業の概要		ベント開催・	参加に伴う消耗品	品購入・PR-	チラシ作成・広	告業務等の委	託。		
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	度	
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初		
	彩	総事業費	2, 782		1, 6	42	4, 663		
■前年度の事業	業分析【評価(Check)】								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	示句例	甲位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	観光客入込数()	替年)	人	1, 774, 651	1, 775, 392	2, 100, 000	2, 100, 000	
	評価		既ね達成した (成できず			
達成度の		各種イベン	ノトをコロナ禍前	のように開	催することが	出来、観光客	入込数は目標を	を達成するこ	
評価と説明	説明とが出来た。								
見直し余地	判定	●数年内(こ見直し可能 ()余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇余	∜地なし		
■将来方向性【									
事業の方向性									
資源方向性	予算				業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	フット	・ゴルフによる	地域魅力向上事	業		事業開	始年度	和 2年度	
担当課	総合政	双策部 総合政	て 策課		担当者	高	喬 岳陽		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	04	くらしを支え	る強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	03	地域資源を活	らかした観	光の振興				
	基本事業 02 観光資源の充実と創出								
±** 0 □ 11			るフットゴルフを		さくら市を「こ	フットゴルフの)聖地」とし県	内	
事業の目的	外から	プレーヤーが	訪れ地域活性化に	繋がる仕組	組みを構築する	ることを目的と	する。		
丰业 。加工			推進委員会を中心					<i>,</i>	
事業の概要			ンの活用など様々			_			
■事業実施結果	【実施								
		年度	5年度		6年		7年度 当初 1,500		
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実績		当初		
	総事業費 2,00				2. 0	00			
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)			·		·		
	指標		<u> </u>	224 / I	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1百1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
15.12 O 14.10					1 -		1 5		
指標の推移	成果	フットゴルフイ	ペント数		15	12	15	15	
	4 ==				0.00	1 000	1 000	1 000	
	成果	フットゴルフイ	ヘント参加有剱	人	962	1, 293	1, 200	1, 200	
	評価	■ 達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の		イベント数	女は横ばいである	ものの、参	♪加者数は順調	に増加してい	ることから、	今後もこの状	
評価と説明	説明	態を維持す	トるよう年間活動	を継続し、	ワールドカッ	プの再誘致に	向けた取り組	みを展開す	
		る。							
見直し余地	判定	三 ●数年内Ⅰ	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要の分	≷地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	●見直		!状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(通常評	福事業 事後	評価)							
事務事業名	駅前交	を流拠点施設維	持管理事業			事業開	始年度 平月	或30年度		
担当課	産業経	E済部 商工額	光課		担当者	竹目	田実梨			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】			·	•				
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	03	地域資源を活	舌かした観	光の振興					
	基本事	基本事業								
事業の目的	さくら 進する		ある氏家駅前に設	设置された	交流拠点を適正	Eに維持管理し	、市のPRを	·促		
事業の概要	さくら	市の魅力を発	信するため整備し	た駅前交 流	流拠点「さくら	テラス」の管	理運営業務。			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年			度		
事業費の推移	事業費の推移 実績/当初予算		実績					初		
		総事業費	6, 092		5, 0	98	6, 5	当初 6, 590		
■前年度の事業:		評価 (Check)								
	指標		票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	ホロが	+ 12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	施設利用者数		人	45, 464	39, 715	30, 000	30, 000		
	成果	観光客入込数		人	1, 774, 651	1, 775, 392	2, 100, 000	2, 100, 000		
	評価	」 ●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず				
達成度の		展示館での	D企画展(F1展示	、企業展示	、観光展示、	さくらブラン	ド展示等)を	継続して実施		
評価と説明	説明するなど、施設利用者数は目標値を上回った。									
見直し余地	式伴	2 ○数年内	こ見直し可能 (●全地けあ	るがまだ時間	が必要 〇全	き地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(通常評		評価)						
事務事業名	総合交	流ターミナル	ዾ施設維持管理事	業		事業開	始年度 平月	成15年度	
担当課	産業経	済部 商工観	光課		担当者	JII1	吴智史		
■事業の執行計	画【計					<u> </u>			
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策 03 地域資源を活かした観光の振興								
	基本事	業 03	観光の施設・						
事業の目的	さくら	市の情報発信	の拠点施設として	「市の特産品	品や魅力情報を	多くの来場者	に発信する。		
事業の概要	の維持	管理を行う。	わを指定管理者と	位置付け、	道の駅きつれ	がわ総合交流	でターミナル施	設	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績		当初		
		総事業費	119, 797		75, 6	77	86, 1	64	
■前年度の事業	F度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	坦	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	TH1	宗 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	道の駅きつれが	わ来場者数	人	1, 025, 142	958, 305	1, 100, 000	1, 100, 000	
	評価	●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず			
達成度の 評価と説明	各種イベントの開催、滞留空間の整備により多少は減少したものの、現状維持となった。 説明							となった。	
見直し余地	判定	· O数年内I	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	≷地なし		
■将来方向性【									
事業の方向性									
資源方向性	予算	幫 ●拡大	、〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 C)現状 〇縮小		

			評価)							
事務事業名		施設維持管理事	業			事業開	始年度 昭和	和57年度		
担当課	産業総	E済部 商工額	光課		担当者	福田	田幸史			
■事業の執行計	画【計									
	政策	04	くらしを支え							
総合計画体系	施策	03	地域資源を活							
	基本事		観光の施設・							
事業の目的		温泉利用者に喜んでもらえる施設管理を、限られた経費の中で効率よく行い、市民にも、市								
ず木の口口			まれる温泉施設 <i>₫</i>							
事業の概要		鼠泉施設「もと			営全般及び観光	光温泉バスの運	置行について、			
			光施設管理協会を	-指定管理	<u> 者として委託。</u>					
■事業実施結果	【実施	(Do)]								
		年度	5年度		6年		7年			
事業費の推移	実	実績/当初予算 実績			実績		当初			
		総事業費	54, 030		37, 0	93	38, 2	241		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	tie t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	示10 1/10	中位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	温泉施設年間利	用者数	人	234, 404	211, 436	245, 000	245, 000		
10 100 10 10	73070	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			201, 101	211, 100	210, 000	210, 000		
	成果	指定管理料		千円	34, 270	23, 720	23, 720	23, 720		
	=± /3	 _ ` *去 + ·	知わる古しナー /	ころかはき	•	·	,	,		
法世典の	評価			<u>)多少は達</u>		成できず L 佐記さ運営	ナフーレジー	+ 4		
達成度の	= 12 11		こよる休館等もあ	つたか、14	、踞を東小限と	し他設を理呂	することか で:	ざた。		
評価と説明	説明	Ħ								
見直し余地	如豆豆		- 目古上 可化 /	つ合地はも	て ポナギ吐田	がみ ● △	>+uh +> 1			
	<u>┃ 判元</u> 改善(Action)】	こ見直し可能 (ノホ地はの	<u>るがまだ時間</u>	か必安 ●オ	<u> </u>			
			1小上 じ 七) 川 公地 女士	○處止 - '	⇒っ					
事業の方向性										
資源方向性	■ 予算額 ■ ●拡大 ○現状 ○縮小 ■ 業務量 ■ ○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(通常評価事業 事後評価)										
	温泉源	泉維持管理事	業			事業開	開始年度 昭	和56年度		
担当課	産業組	経済部 商工額	光課		担当者	福福	田幸史			
■事業の執行計										
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤					
総合計画体系	施策	03	地域資源を流	舌かした観	光の振興					
	基本事	基本事業 03 観光の施設・基盤の整備と管理								
事業の目的	温泉源	泉を常に稼働	させ、各施設に温	温泉をスム-	ーズに供給する	5.				
事業の概要			泉を供給するため)、温泉源り	泉供給関連施詞	设の維持管理 を	を行う。			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度		年度		
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実	績	当初			
		総事業費	42, 447		47,	111	45,			
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)								
	指標	ti:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	打 目1	宗口你	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	市で現に管理す	る源泉の数	-	3	3	3	3		
	評価	」 ●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇道	成できず	•			
達成度の		工事、修約	善等を速やかに行	い円滑に温	泉供給ができ	た。また、ポ	ンプ故障によ	り送湯が困難		
評価と説明	説印		温泉宅配により営							
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		1 し継続 ● 明	!状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性			: 〇現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	1		

	7-1-71		評価)						
事務事業名	観光は	品会振興事業				事業開	始年度 平	成26年度	
担当課	産業経	経済部 商工額	光課		担当者	í JII	吴智史		
■事業の執行計									
	政策	04	くらしを支え	える強固な	経済基盤				
総合計画体系	施策	03	地域資源を活	舌かした観	光の振興				
	基本事		総合事業						
事業の目的			を図り、年間を通		客を誘客し、均	地域の活性化を	₽促すことを目	目的	
予末の口口			の活動を支援する						
事業の概要	観光客	の誘客や地域	経済活性化のため	カ市観光協会	会へ補助金を3	を付する。			
	7 cts +6	(D)							
■事業実施結果	【実施		-, -		1		- <i>- i</i>		
		年度	5年度			度		ア年度 当初 55,478 7年度 8年度 計画 計画	
事業費の推移	実績/当初予算 実績					績	当初		
		総事業費	35, 774		42, (<u> </u>	55,	<u>478</u>	
■前年度の事業		評価 (Check)		•			-, -		
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度			
	区分	101	ж. п . Ю.	—	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	マスコミ露出件	数	件	27	20	20	20	
14 12 - 2 14 15									
	活動	観光協会主催事	業数	件	16	14	20	20	
	= <u></u>		無わ、まぱし # #	■名 小は海		けったぜ			
法は由の	評価		既ね達成した			成できず 火物会恵翌日	のはかにより	ナル 市 ** ** / +	
達成度の	= 24 00			9 0 - 2 7	いじざにか、飯	沈協宏事務貝	の減少により	土惟争耒剱は	
評価と説明	説明 減少となった。								
 見直し余地	判定	○粉年内	こ見直し可能	오베() #	るがまだ時間	が必要 ○台	≥++h +> 1		
		Action)】	- 元旦しり化	示地はの	1.の11.41に141日	1/4· %)女 〇月	マッドング し		
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・:	≐ フ				
<u>事業の方向性</u> 資源方向性		章 ○ 極祝 ● 5 算額 ○ 広大			元」 業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		
具冰刀凹注	1/5	子供 し加入	、●犹仏 ○稲小)	未伤里		プスス し船り	•	